

検査受託中止のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記に掲げる検査項目におきまして、検査受託を中止させていただきたくご案内申し上げます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■最終受付日 2022年 3月 30日(水)ご依頼分をもって受託中止

■検査受託中止項目

案内書 掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	備考
130	2761 8C051	肺癌EGFR遺伝子変異解析Clamp	測定委託先における検査受託中止のため。 (令和4年度診療報酬改定により検査実施料が 削除されるため)

■代替項目

項目コード 統一コード	検査項目	判断料 実施料	採取量(mL) 必要量(mL)	容器	保存	検査方法	基準値	所要 日数	備考
2761 8C051	EGFR遺伝子 変異解析 コバスv2	遺伝子 2500	未染スライド* 4~5枚 (5μm厚) または パラフィン切片 4~5枚 (5μm厚)		室	リアルタイム PCR法	検出せず	7~9	※注

0BB

※) 本検査に必要な腫瘍細胞含有率は10%以上です。病理組織診断にて腫瘍が認められた部位をマーク(実線で囲む)したHE染色スライドを併せてご提出下さい。FFPE処理後12カ月以内、未染スライド作製後60日以内にご提出下さい。強酸による脱灰操作をした検体はご提出できません。

注) ホルマリン固定検体では、固定条件によってDNAの断片化が著しく、解析不能な場合があります。ホルマリン固定検体では、一般に推奨される固定液は10%中性緩衝ホルマリンです。固定時間の目安は、手術材料では室温で18~36時間、生検材料では室温で3~6時間程度です。4~5mm程度の厚さの組織として短時間で固定した後に切り出しを行うことにより核酸の断片化が改善されることがあります。

※裏面にも案内がございますので、ご覧ください。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは当社インフォメーションまでお申し付けください。

■コンパニオン診断薬として用いられる対象医薬品

測定対象	適応疾患	成分名	商品名
EGFR遺伝子変異	非小細胞肺癌	アファチニブマレイン酸塩	ジオトリフ
		オシメルチニブメシル酸塩	タグリッソ
		ゲフィチニブ	イレッサ
		エルロチニブ塩酸塩	タルセバ
		ダコチニブ水和物	ビジンプロ

■検出対象変異

Exon19欠失、L858R、G719A/C/S、L861Q、S768I、T790M、Exon20挿入